取扱説明書

DAYTONA corp.
S74019①/⑩

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

オイルクーラー KIT	適応車種	商品NO.
	ＡＰＥ１００、ＸＲ１００モタード（当社ビックボアキット、又は内径Φ８ホース取り出し口装備のエンジン専用　）	74019/74020

■ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
その他	その他の警告及び注意を告げるものです。		

⚠警告


禁止

- この商品は、記載されている適合車種以外の車両には使用しないでください。
- この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をする場合があります。また、文中にご紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。
- この商品に曲げ、切削、溶接等の追加工を行ないますと、重大な事故の原因となりますので、絶対に追加工はしないでください。
- 取り付けに入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。

⚠注意


実施

- 取り付けは確実に行ってください。また、走行中にネジ部等が緩まないよう、トルクレンチを使って所定トルクで確実に締め付けてください。
- ご本人以外が取り付けを行う場合、取り付けされる方(販売店も含む)は、取り付け完了後各部の緩み、不具合等、点検後、危険箇所(バリ、突起物)無き事を確認の上、必要事項を説明し本説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- この商品、あるいはこの商品を取り付けたオートバイを他の第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡しください。

2011/04/21

・取り付け後約１００km 走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約５００km 毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。

・作業を行う際は、必ずエンジン冷間時に行ってください。【火傷を起こす原因となります。】

・本商品には、エッジや突起がある場合があります。作業時は手を保護して行ってください。【ケガの原因となります。】


その他

・走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
・同時装着部品として当社製 APE100XR100 モタード用ビックボアキット（オイルクーラーホース取り出し口装備）が必要です。
・ＡＰＥ５０、ＸＲ５０モタードにはボルトオンでの取り付けはできません。（車体には取付けできますがオイル取り出し口の併設されたクラッチカバー、シリンダーとの同時装着が必要です。）

・エンジン停止直後に停車や駐車をしますと火災発生の原因となります。オートバイ付近に燃えやすいものがないことを必ず確認してから駐車および停車をしてください。

・ライディングマナーを守り、急加速、急発進、空吹かしはしないでください。また、早朝や深夜等も静かな走行を心掛けてください。

・スピードメーターケーブルやブレーキホース類がオイルクーラーの上下ブラケットに引っかかり転倒や､ワイヤー類の切断等する可能性がありますので、各ケーブル類は結束バンド等で確実に固定をしてください。

・この商品は、道路運送車両法および道路運送車両の保安基準に適合しております。ただし一般公道において制限速度を超える速度で走行した場合、ライダー自身が道路交通法(速度超過違反)によって罰せられます。一般公道では遵法運転を心掛けてください。

・排気ガスには有毒な成分が含まれています。締め切った車庫や倉庫の中でエンジンを掛け続けると、一酸化炭素中毒の恐れがありますので、必ず十分な換気を行ってください。

・当商品の装着時、点検・整備を行った際に車体部品に欠損・損傷が合った場合はその部品の再利用を避け、新しい部品に交換してください。【重大な事故を起こす可能性があります。】

・この取扱説明書に書かれている指示を無視した使用方法により事故や損害が発生した場合は、当社は一切その責任を負いません。

本商品の特徴

- ７段/10 段コアのオイルクーラー＋APE/XR フレーム専用ステー付属。
- コアのマウント方法は縦置き/横置きが共に可能（ＡＰＥのみ）
- 当社製ＡＰＥ１００/ＸＲ１００モタード用ビックボアキット（オイルクーラーホース取り出し口装備）専用のオイルクーラーキットです。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	オイルクーラー本体	7/10 段	1	⑬	タイラップバンド		2
②	オイルクーラーステー		1	⑭	ラバーワッシャ-		8
③	アッパーブラケット		1	⑮	六角穴付きボタンボルト	Ｍ８Ｘ６５	1
④	ロアーブラケット		1	⑯	六角穴付きボルト	Ｍ６Ｘ８５	1
⑤	スペーサー（サイドカラー）		4	⑰	六角穴付きボルト	Ｍ６×９０/６５	4
⑥	カラー		2	⑱	六角Ｕナット	Ｍ６	7
⑦	バンジョー	Φ８	2	⑲	平ワッシャ-	Ｍ６	１２
⑧	バンジョーボルト	Ｍ１２Ｘ１．５	2	⑳	六角Ｕナット	Ｍ８	1
⑨	ブッシュカラー		1	㉑	六角穴付きボルト	Ｍ６Ｘ２５	2
⑩	オイルホース	Φ８×９００	1	㉒	平ワッシャ-/大	Ｍ６	1
⑪	ホースバンド		4	㉓	平ワッシャ-	Ｍ８	1
⑫	シーリングワッシャ-	12mm用	2	㉔	平ワッシャ-	Ｍ１０	1

取付前の事前確認

1.ボルトオンでの取り付けが可能

[APE100、XR100 モタード用当社製ビックボアキット
品番 48110/48388/67894/66146/66290 の場合]

ＡＰＥ１００用当社ビックボアキットはオイルクーラーへの取り出し口（内径Φ８バンジョー）を標準装備しています。シリンダー側オイルライン取り出し口に本キットのホースを取り付けします。（詳しくはシリンダー説明書を参照のこと）

2.ボルトオンでの取り付けはできません。

[ＡＰＥ50/100、ＸＲ50/100 モタード純正シリンダー又は、
当社ボアアップキット　品番 35039/67895/63623/66145 の場合]

ＡＰＥ５０、ＡＰＥ１００純正シリンダー、当社ＡＰＥ５０用８０ｃｃビックボアキットにはオイルクーラーの取り出し口が無いため、このオイルクーラーを取り付けできません。オイルクーラーへのオイル取り出し口の装備されたクラッチカバー類と併用してください。その際はオイル取り出しのバンジョーは内径φ８ホース対応の物を使用してください。

[他社製オイルクーラー取り出し口を装備のシリンダーの場合]

他社製シリンダーの場合、オイルクーラーへの取り出し口をボルトで塞いでいる商品があります。詳しくは使用するシリンダーのメーカーに問い合わせ、メーカー指定取り出し口で内径Φ８ホース用バンジョー、専用バンジョーボルトを使用してください。シリンダーによってはオイル通路を遮断する（通路変更用）専用のバンジョーボルトを使用しないとオイルが正常にオイルクーラーに流れない商品があります。なお、当社では組み合わせによるエンジン破損等のトラブルは一切保証できません。

Ｆフェンダーとの兼合

横付けの場合

- フロントタイヤ後方にオイルクーラーを配置しますので組み合わせるフロントフェンダーによっては接触する場合があります
- ＸＲモタードの場合、純正樹脂フェンダーをダウンフェンダーに変更するか、フェンダー端からオイルクーラーとの接触部分をカットしてください。
- ＡＰＥ純正樹脂フェンダーでもバンジョーボルトにフェンダー後端部が接触する場合は、フェンダー端から１０～２０mm 程度カットしてください。（樹脂フェンダーのため形状が微妙に変形していることがあるためです。）

スピードメーターケーブル、ブレーキケーブル、ホースとの兼合

- スピードメーターケーブルやブレーキホース類がオイルクーラーの上下ブラケットに引っかかり転倒や、ワイヤー類の切断等が起こる可能性があります。各ケーブル類はタイラップバンド等で確実に固定してください。

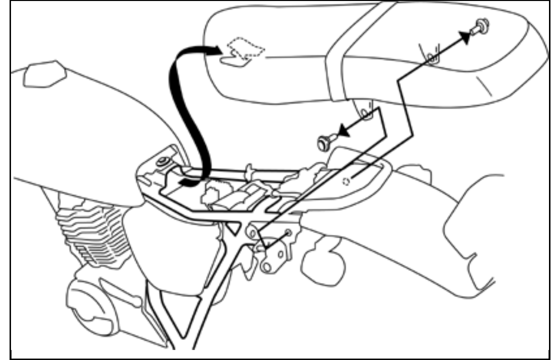
オイルホースの取り回し

- キット付属の⑩オイルホース（900mm）はカットしてありませんのでお客様の使用状況、組み合わせに応じてカットしてください。
- ホースは当社製ＡＰＥ１００用シリンダーＫＩＴとの組み合わせで決めていますのでその他シリンダー、特殊な取り回しのマフラーとの組み合わせの場合はホース長が足りない場合があります、その場合は別途ホース（61170 補修オイルホース￥1,995）を入手してください。（ホースを切る前にその他ホースやヒモ類である程度の長さを決めてください／キット付属はホース内径Φ８）
- ホースの固定は⑪ホースバンドにて固定します、油圧が上がりますので、ねじ込み式のホースバンドを使用します、オイルホースの配置はどちら側がＩＮでも、ＯＵＴでも構いません。
- オイルホース取り回し経路には、マフラーやシリンダーがありますのでオイル漏れ等のトラブルが起きないようにホースを配管してください。

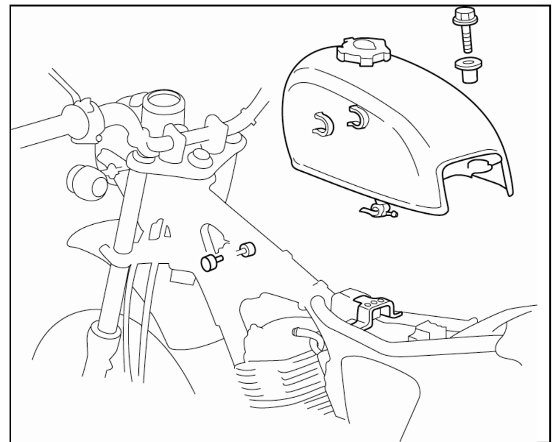
取付方法

本説明書は、オイルクーラーの車体側へ取り付けの説明を主にします。取り出し口側に関してはそれぞれのオイルクーラー取り出し口付きのシリンダーやクラッチカバー、クランクケースの説明書を参考にしてください。

1. 〔シートを固定しているボルトを緩め、シートを取り外します。〕



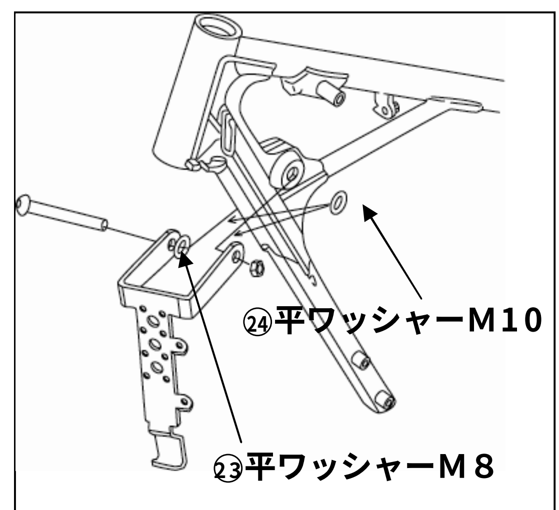
2. 〔ガソリンタンクの燃料コックをＯＦＦにしてガソリンホースを取り外します。〕
3. 〔ガソリンタンクを固定しているボルト（Ｍ８ｘ１本）を緩め、ガソリンタンクを取り外します。〕



4. 〔オイルクーラーステーをフレームに取り付けします。〕

ＡＰＥの場合

・　ガソリンタンクの前側のラバー設置部の下の既設穴に車体右側から⑮六角穴付きボタンボルト（M8x65/1 本)、②オイルクーラーステー、ステーの間の車体右側に㉓平ワッシャーＭ８、⑳六角Ｕナット（Ｍ８）の順に仮固定します。



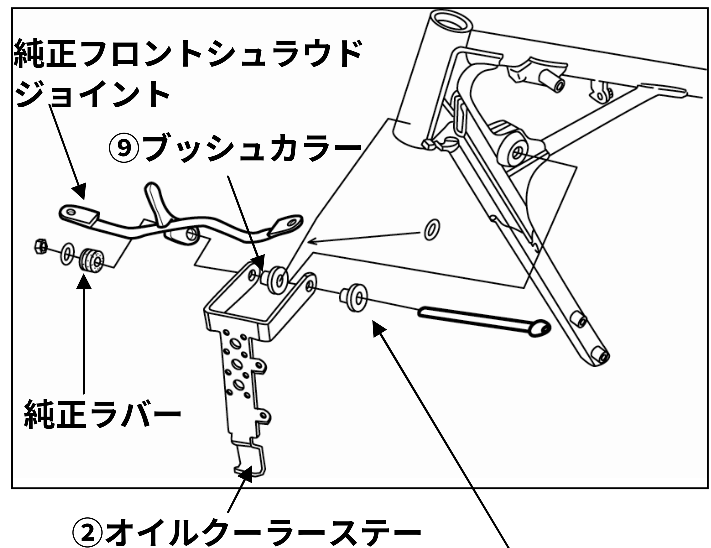
・最後にタイラップで揺れ止めとして固定してください。

⑰六角穴付きボタンボルト（M8x65/1 本）
締め付けトルク：　１８Nm

ＸＲモタードの場合

- ガソリンタンクの前側のラバー設置部の下の既設穴に車体左側から⑯六角穴付きボルト（M6x85/1 本)、純正フロントフェンダーカラー、②オイルクーラーステー、⑨ブッシュカラー、純正フロントシュラウドジョイント、純正ラバー、㉒平ワッシャー(大)、⑱六角Ｕナット（M6）の順に仮固定します。

- 最後にタイラップで固定してください。



六角穴付きボルト（M6x85/1 本） 締め付けトルク：トルク(Nmの場合)　8 Nm

⚠注意
- 六角穴付きボタンボルトはフレーム側の溶接ナットへ本来のネジ締め方向とは逆方向に入ります。トルクを掛けすぎると溶接ナットが破損する恐れがあるため、トルク管理に注意してください。
- 品番 39298 ホーン移動ステーを装着する場合はフレームとオイルクーラーステーの間の位置に装着してください。

One Point!
- フレーム側のステー取り付け部分の幅は車両によってばらつきが有ります。②オイルクーラーステーとフレームの間に隙間が開く場合は必要に応じて車体右又は左側に㉔平ワッシャーM10 をはさんで共締めしてください。

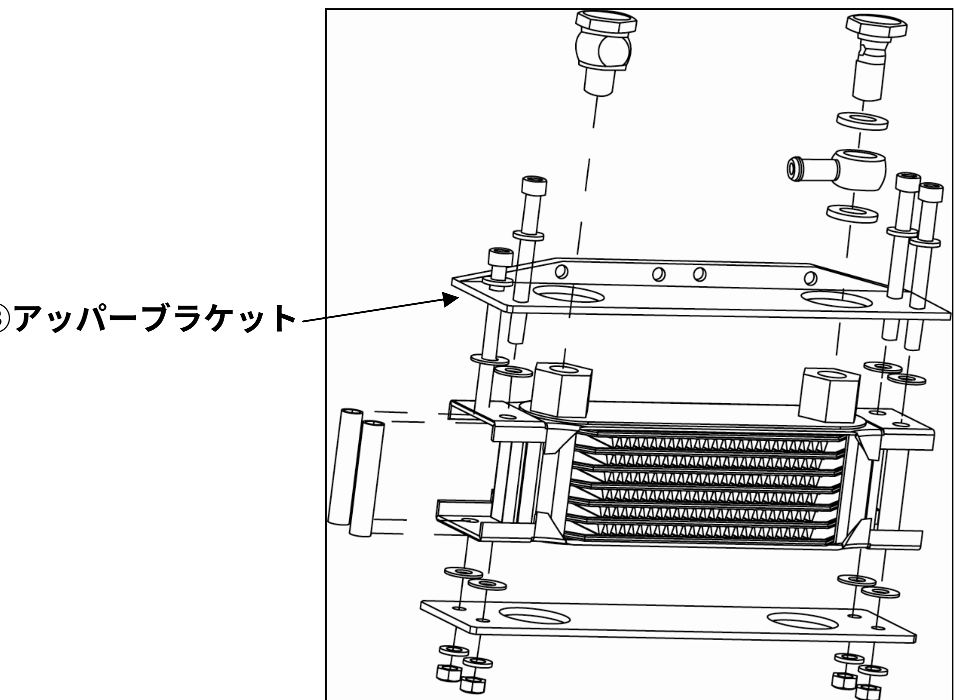
5. 〔オイルクーラーを仮組みして、　オイルクーラーをステーに固定する前に内部にオイルを注入します。　（コア注入分約 100ｃｃ）　〕

⚠注意

オイルクーラーＡＳＳＹ部分は商品梱包時に仮締めのため、増締めを行わない場合、走行時にネジが脱落する危険性が有ります。

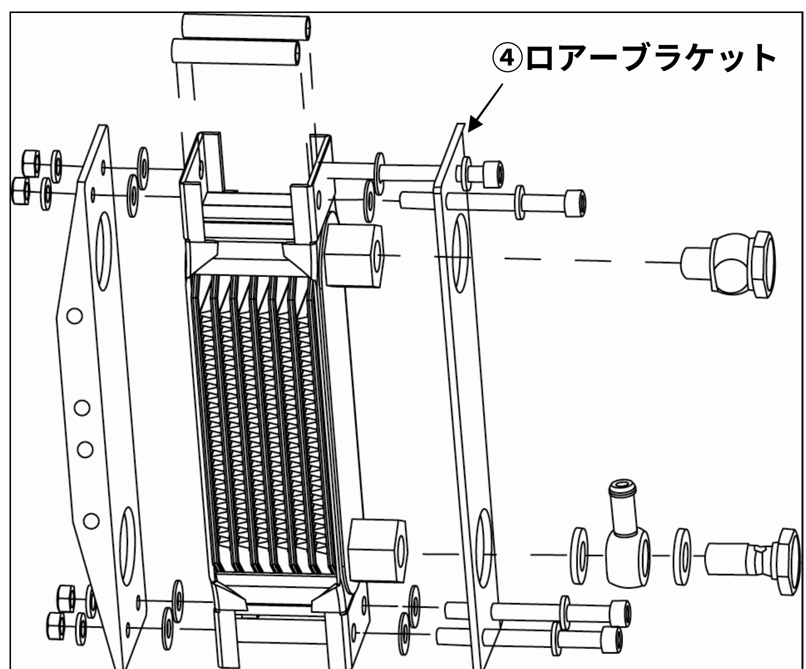
横付けの場合

（APE 系 7/10 段コア、ＸＲ系 7/10 段コアが取付け可能。ただし、F フェンダー要加工）
③アッパーブラケット側に⑦バンジョーが付きます。



縦付けの場合

（APE 系 7/10 段コア、ＸＲ系 7 段コアが取付け可能）
横付けの場合と上下が反対になり、④ロアーブラケット側に⑦バンジョーが付きます。



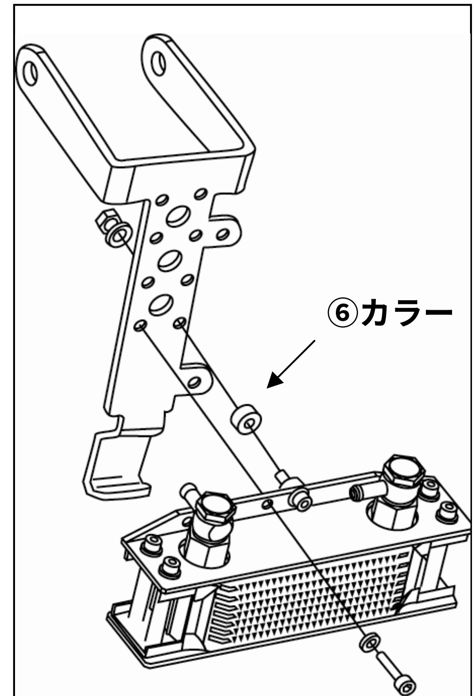
6. 〔オイルクーラーＡＳＳＹの装着〕

⚠注意

オイルクーラーＡＳＳＹ部分は商品梱包時に仮締めのため、増締めを行わない場合、走行時にネジが脱落する危険性が有ります。

横付けの場合

②オイルクーラーステーのセンターの２箇所の穴の任意の位置に仮組みしたオイルクーラーＡＳＳＹの③アッパーブラケットの中心の２個の穴位置を合わせて、㉑六角穴付ボルトＭ６ｘ２５、⑱六角Ｕナットの M６、⑲平ワッシャーＭ６、⑥カラーをそれぞれ 2 個づつ組み合わせて固定します。



One Point!

※ＡＰＥ用として様々なＦフェンダーが現在販売されていますが使用するフロントフェンダーによってはコアと接触する恐れがあります。②オイルクーラーステー自体に８箇所の取り付け穴を設定していますので、組み合わせ状況に応じてクーラー取り付け位置を上下させてください。

※キット付属の㉑六角穴付きボルトＭ６ｘ２５は取り付ける位置によっては、このボルト先端がフレームに接触しますのでその場合は別途市販のＭ６ボルトを用意してください。

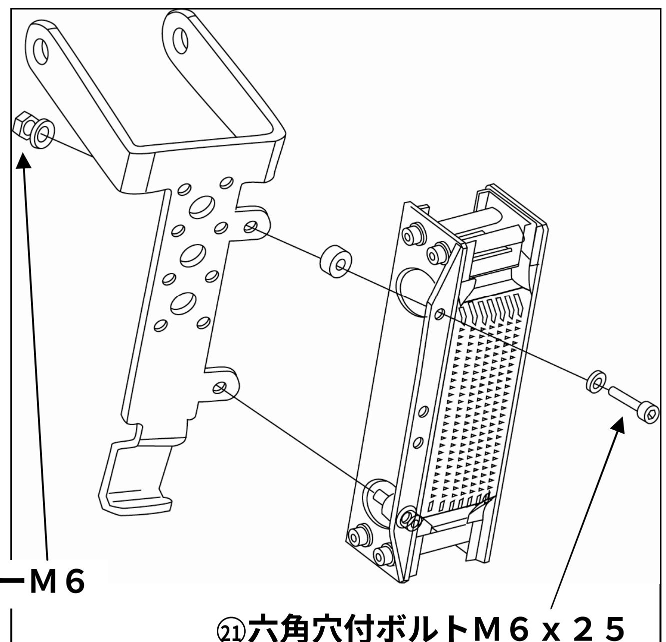
縦付けの場合

②オイルクーラーステーの左サイドの２箇所の穴に③アッパーブラケットの２箇所の穴を合わせ、㉑六角穴付ボルトＭ６ｘ２５、⑱六角ＵナットＭ６、⑲平ワッシャーＭ６、⑥カラーをそれぞれ 2 個づつ組み合わせて固定します。

One Point!

※7 段コアは無加工で装着可能です。（ＡＰＥ/ＸＲモタード共に）

※10 段コアはＡＰＥのみ無加工で装着可能です。



7. 〔オイルクーラーＡＳＳＹが配置できましたら、仮締めしていたネジを確認の上、本締めします。〕

8. 〔ガソリンタンクを乗せ、ガソリンホースを取り付けます。〕

9. 〔⑩オイルホースを適切な長さにカットし、⑦バンジョーからエンジン側のオイルホース取り出し口まで接続し、⑪ホースバンドで固定します。〕

⚠注意

※⑩オイルホースが外れた場合、エンジンオイルが飛散し、エンジントラブルを引き起こす恐れがありますので⑪ホースバンドの固定は慎重に行ってください。

※オイルホース取り回し経路においてマフラーに接触しないようにホースを配管してください。オイルホースがマフラーの熱で破損し、エンジンオイルが飛散する恐れがあります。

One Point!

※ホースを切る前にその他ホースやヒモ類である程度の長さを決めてください。

※オイルホースの配置はどちら側がＩＮでも、ＯＵＴでも構いません。

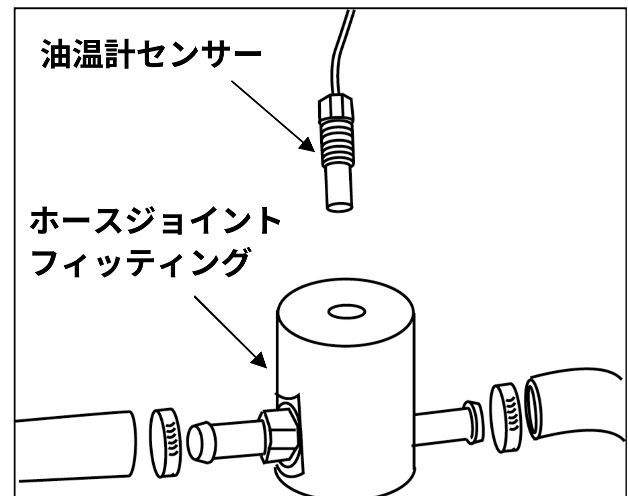
10. 〔エンジンを始動させ、オイル量チェックとオイル漏れ等が無いか確認できましたら取り外した部品を元に戻します。〕

11. 〔外したシートを取り付けします。〕

■ 油温管理方法■

油温計を装着する際は右記のようにオイルホースをカットし、ホースジョイントフィッティングの両端にカットしたオイルホースを差込みホースバンドで締め込んで固定します。

次に、油温計のセンサーをホースジョイントフィッティングに締め込んで使用します。



オプション品

品番	品名	価格
43350	センサージョイントフィッティング	￥3,465
47101	コンパクトテンプメーター	￥6,825

⚠注意

※ オイルクーラー装着時でも、季節や使用状況によってはオイルの冷却が間に合わず、オーバーヒート状態になる可能性があります。常に油温の管理には注意してください。エンジントラブルを起こした場合、クレーム対象外となります。
※ ホースジョイントフィッティングはできるだけエンジンから近い油温が高い部位に取り付けてください。エンジンから離れた部分にホースジョイントフィッティングを取り付けると正確な油温が取れません。
※ オーバーヒートが起こった場合、ピストンピンが抜けにくくなる、カムシャフトやロッカーアーム周辺の焼き付きや偏磨耗、コンロッド小端の焼き付き、大端ベアリング破損等が起こる場合があります。十分注意してください。

補修部品

品番	品名	税込み価格	説明
61170	オイルホース	￥1,995	長さ 900mm、内径φ8 の耐油ホース
63270	ホースバンド	￥315	1 個入り
61172	ラバーワッシャー８枚セット	￥473	オイルクーラーコアとアンダーブラケット、ロアーブラケットの間のラバーワッシャー
63475	オイルクーラー10 段コア	￥16,800	オイルク－ラーコア 10 段単体
61392	オイルクーラー7 段コア	￥14,700	オイルク－ラーコア 7 段単体
33583	シーリングワッシャーM１２	￥210	1 枚入り
73962	サイドカラーセット/7 段	￥1,575	４本セット
73963	SUS バンジョー	￥1,575	１個入り
73964	SUS バンジョーボルト	￥1,365	↑
62497	オイルクーラーステー	￥1,570	スチール製ブラック仕上げ
上記、税込価格は２０１１年４月現在の価格になります。			

株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp　E-mail: info@daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで